

7 平成 19 年度 事業のまとめ

(1) 利用者にとって、より便利で快適な図書館を目指します

ア 身近な公共施設での図書の貸出・返却取次の試行（図書取次サービス試行事業）

区役所連携事業として平成 17 年 10 月に開始した図書の貸出・返却取次サービスを、引き続き試行実施しています。

平成 19 年度の新たな取組として、10 月に青葉区藤が丘、若草台、美しが丘西、大場みすずが丘の 4 地区センターでの貸出・返却サービスを開始したほか、図書返却のみ受け付けていた区民交流センター「田奈ステーション」での貸出サービスを実施しました。また、12 月には緑区の東急線長津田駅の行政サービスコーナーに返却ポストを設置し、図書返却サービスを開始しました。

なお、この試行事業における年間の利用件数は毎月増加傾向にあり、利用者アンケートの結果も好評なことから、平成 20 年度も継続して実施していきます。



長津田駅返却ポスト

【平成 19 年度利用実績】

区	場 所	実施内容	延べ利用数		
			利用者(人)	貸出(冊)	返却(冊)
旭	二俣川駅（相鉄線） 行政サービスコーナー	貸出・返却	25,579	42,570	66,464
戸塚	東戸塚駅（JR線） 行政サービスコーナー	貸出・返却	45,438	75,357	92,275
緑	長津田駅（東急線）*1	返却ポスト			4,163
青葉	美しが丘西地区センター	貸出・返却	1,621	2,692	3,433
	大場みすずが丘地区センター	貸出・返却	870	1,371	1,403
	藤が丘地区センター	貸出・返却	1,791	2,987	3,067
	若草台地区センター	貸出・返却	1,713	2,850	2,714
	奈良地区センター*2	貸出・返却	7,197	11,756	15,970
	田奈ステーション*3 （区民交流センター内）	貸出・返却	1,320	2,204	4,601
	市が尾駅（東急線） 青葉台駅（東急線） たまプラーザ駅（東急線）	返却ポスト			158,371

*1 平成 19 年 12 月サービス開始

*2 奈良地区センターでの数値は平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月。その他の青葉区地区センターは、平成 19 年 10 月～平成 20 年 3 月。

*3 平成 19 年 9 月までは返却のみ。10 月から貸出・返却サービスを実施。

イ 利用者の要望の把握

「市民からの提案」などに寄せられる声を聴き、生かしていきます。

横浜市では、広く市民の皆様からの声を聴き、市政に反映していくために、「市民からの提案」事業を実施しています。平成19年度に「市民からの提案」などに寄せられた図書館に関する意見・提案は478件でした。最も多くの要望が寄せられた事項は、図書館の運営手法に関すること(87件)でした。以下、図書予約に関すること(46件)、地区センターとの連携・返却ポスト増設などサービスポイントの拡大(44件)、閲覧席や駐車場など図書館の施設に関すること(37件)と続いています。

図書館運営に関すること	図書館建設・充実	20
	サービスポイントの拡大	44
	開館日・時間の拡大	9
	施設に関すること	37
	運営手法に関すること	87
	その他	75
図書館サービスに関すること	貸出・返却に関すること	20
	予約に関すること	46
	図書館システムに関すること	6
蔵書に関すること	蔵書充実・資料収集	28
	資料管理・書架管理	27
職員に関すること	市民対応	29
その他	利用者マナー	21
	その他	29
合 計		478 件

ウ 6か国語カウンター応答集の作成

外国人市民のスムーズな図書館利用を支援します。

住所変更手続や予約の申込方法など図書館で日常的にやりとりされる126フレーズを、英語・中国語(簡体字/繁体字)・ハングル・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語の6か国語で作成し、市立図書館全館のカウンターに常備しました。

エ マナー向上への取組

10月に市立図書館全館で、利用マナー向上キャンペーンを実施しました。

切り取りや書込みのため利用に供することができなくなった本や雑誌を展示する「特別展示 本が泣いています」を実施したほか、貸出手続時にお渡しするレシートにマナー向上についての標語を掲載し、図書館利用のマナー向上を訴えました。

また、中央図書館で一本松小学校との連携による「利用マナー向上ポスター展」、港北図書館で来館児童による「ぬりえ大会」を行いました。



一本松小学校児童による「利用マナー向上ポスター展」(中央図書館)



利用マナー向上「ぬりえ大会」(港北図書館)

オ 音楽映像ライブラリーのリニューアル

音楽映像ライブラリーをリニューアルしました。

中央図書館地下1階音楽映像ライブラリーの視聴機器を1月に更新しました。新しく導入した機器では、ビデオテープ・CD・レーザーディスクの早送りや一時停止等ができるようになり、見たいシーンの繰り返しや楽曲の部分連続再生などが可能になりました。ご要望の多かったDVDの視聴についても、再生機器を導入しました。これによりさまざまな種類のソフトの視聴が可能になりました。

リニューアルに伴い、音楽映像ライブラリーでご覧いただいていた楽譜・音楽雑誌・事典を5階の人文科学フロアへ移動しました。これまで、地下1階と5階に分かれていた音楽や映画に関する図書や雑誌を一括してご覧いただけるようになり、より便利になりました。



音楽映像ライブラリー(中央図書館)

(2) 市民の調査研究を支援するとともに図書館からの情報発信に努めます

ア 図書館ホームページの充実

コンテンツの充実に努めるとともに、新たにティーンズページ・キッズページを開設しました。

利用案内やガイドマップなどの基本情報、レファレンス事例集、テーマ別図書リストなど従来のコンテンツの充実に努めるとともに、10月4日に「ティーンズページ」を開設しました。10代利用者向け図書紹介のほか、図書館の使い方やサービス案内を掲載しています。また、3月27日には「キッズページ」を開設し、乳幼児や児童、保護者、地域で活動する読み聞かせボランティアにも役立つ図書紹介などを中心に情報発信をしています。

地域図書館のホームページでは、昨年度に引き続き、各図書館で実施する催し物や展示の案内、新着図書の紹介などを掲載するとともに、「ぼくの・わたしの おすすめ本」(神奈川図書館)、「ご相談・ご質問事例集」(瀬谷図書館)など、新しいコンテンツも増えました。

【図書館ホームページ アクセス件数】 (件)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
図書館ホームページ	1,399,468	1,866,081	3,428,155	5,033,996	5,983,939
図書館蔵書検索ページ	2,070,616	2,582,889	3,910,981	5,882,168	6,734,980



イ 「横浜市立図書館情報紙@Lib」創刊

図書館を知っていただき、図書館を使いこなしていただくための情報紙です。

定例的な行事を主に紹介していた「行事とお知らせ」(A4裏表2頁、1,300部/月)をリニューアルし、1月9日に「横浜市立図書館情報紙@Lib」(A3二つ折り4頁、8,000部/月)を創刊しました。

図書館のさまざまなサービスや新規事業などを紹介し、図書館を利用したことのない方にも興味を持っていただける記事を掲載しています。



ウ 企画事業の実施(詳細は、「10 利用状況(9)企画事業、その他の事業」P46 参照)

(ア) 中央図書館の事業

情報検索講座

中央図書館では情報活用能力(情報リテラシー)の習得を目的とし、中央図書館司書が講師となって、本とインターネットの両方を使った“調べ方のコツ”を伝授する「情報検索講座」を実施しています。5年目となった平成19年度は、「情報検索はじめの一步」、「はじめての医療情報の探し方」をテーマに、図書資料とWebサイトの紹介、情報源の使い分けのポイントなど、情報検索のコツをご案内しました。また、保土ヶ谷図書館と港南図書館で「横浜の地図をさがす」をテーマに、郷土の地図や図書資料、Webサイトを紹介します講座を実施しました。



「横浜の地図をさがす」(会場:保土ヶ谷図書館)

中央図書館バックヤード(裏側)見学会

3月22日に中学生以上を対象とした見学会を実施したほか、横浜市教育委員会事務局事業「子どもアドベンチャー2007」の一環として8月22日に小学生とその保護者、8月23日に中学生向けの見学会を行いました。

115万冊を収蔵する地下書庫や約3,000冊の新刊見本図書のある選定室、図書の装備をする装備室などの見学のほか、開港期の浮世絵や絵図、古書などを収蔵する「貴重書庫」のコレクションから、安藤広重の浮世絵などを紹介しました。

その他、「開港150周年を楽しむ会」と共催で開港期の横浜に関する連続講座、「かながわ・がんQOL研究会」との共催による「医療情報コーナー開設1周年記念講座『がんの在宅医療家で看取る～その人らしい生き方の選択』」を行いました。また、都市経営局大学調整課、大学・都市パートナーシップ協議会との共催事業「よこはま大学リレー講座2007『横濱を学ぶヨコハマで学ぶ』」では、中央図書館司書が、各講座の講師及び講義テーマ関連資料の紹介・貸出や、情報検索講座などを行いました。(10月20日を除く)



よこはま大学リレー講座2007(中央図書館)

中央図書館の所蔵資料を活用した資料展示会を開催しました。

横浜出身の歌姫、美空ひばり生誕 70 年にあたり、「この本に美空ひばりがいた！ - 「美空ひばり学」のために - 」と題して、関連図書を始め中央図書館所蔵のプロマイドやゆかりのある場所のパネルなどを展示しました。

「風をきって走る - 自転車と文学とヨコハマ - 」では、文明開化の横浜にいち早く輸入された自転車をテーマに、明治期横浜の関連絵葉書・貴重書を展示したほか、自転車が登場する文学作品を紹介しました。

また、横浜で誕生した 15 の文学賞の紹介とともに、横浜出身で賞の冠になった 4 人の作家（長谷川伸、吉川英治、大佛次郎、山本周五郎）の紹介と各賞の受賞作の一部を展示した、「ヨコハマ発！文学賞の世界 - 横浜生まれの文学賞と、伸、英治、次郎、周五郎の賞 - 」などを行いました。



「ヨコハマ発！文学賞の世界」(中央図書館)



「この本に美空ひばりがいた！」(中央図書館)

(イ) 地域図書館の事業

周年記念事業を 5 館で行いました。(鶴見・神奈川・中・保土ケ谷・山内)

神奈川図書館(開館 20 周年)、山内図書館(開館 30 周年)、鶴見・中・保土ケ谷・磯子図書館(いずれも区制 80 周年)の各図書館で、区制施行当時を振り返る展示や上映会、郷土にちなんだ講演会など、各区の歴史を活かした事業に取り組みました。



「講演会 神奈川宿を現代に伝える」(神奈川図書館)



「青葉区・近隣区 文庫&施設マップ」(山内図書館) 合わせて、「青葉区内図書貸出施設マップ」も作成しました。



「保土ケ谷区誕生の頃は…」(保土ケ谷図書館)

郷土資料展を6館で行いました。(中央・南・保土ヶ谷・旭・緑・山内)

教育委員会文化財課と連携し、各区の横浜市指定文化財のパネル展を6館で実施しました。緑・山内図書館では指定文化財のパネルのほかに、区内の遺跡から発掘された出土品も実際に展示しました。また、緑図書館では財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター調査研究員によるミニレクチャーも行いました。



「緑区域の文化財展」ミニレクチャー(緑図書館)



「南区郷土資料展」
(南図書館)

その他、環境創造局・J Aと連携して区内の農産物を紹介した「いずみ自慢農産物フェア」(泉図書館)、アマチュアの影絵劇団公演(神奈川図書館)など、外部機関・団体と協力・連携してさまざまな事業を実施しました。

エ 市民の調査研究への支援

レファレンスサービスの充実に努めました。(Eメールレファレンス・資料目録・レファレンス事例集)

図書館では、カウンターや電話、Eメールで、毎日多くの方からの資料の問い合わせや調査の相談を受け、必要な図書や情報を探すお手伝い=レファレンスサービスを行っています。その中から、調べ物をする際に参考になりそうな事例をレファレンス事例集としてほぼ毎月、図書館ホームページに掲載し、レファレンスサービスのPRに努めています。また、「調査のミカタ」シリーズとして、蔵書検索では探しづらい資料の目録やパスファインダー(探し方のご案内)を発行しています。

「調査のミカタ」シリーズ(平成19年度発行分)

目録	パスファインダー
教科書目録 小学校	薬を調べる
教科書目録 中学校	雑誌記事を探す
教科書目録 高等学校	統計情報をさがす
社史目録	病気を調べる
ヨコハマ地図目録	百科事典を活用する
横浜市電話帳目録	横浜・開港を知る
	横浜の地図を探す
テーマリスト	
職場のメンタルヘルスケアを考える	
地球温暖化を考える 2007	

2019年10月17日発行

雑誌記事を探す

横浜市中央図書館資料課「調査のミカタ」シリーズ

雑誌の「情報」が「どこ」に書いてあるか、調べられるのは重要です。そこで「雑誌記事」を漁って探してみよう。

雑誌の「目次」は「雑誌」の「目録」です。その中に「雑誌記事」としてのページが載っています。大抵その中に記事のタイトルが載っています。そのページを開いてみましょう。

一方、雑誌記事はそれぞれにそれぞれの特徴があります。それぞれの特徴を知ると、その雑誌記事の探しやすさが変わります。

自分の知りたいテーマが雑誌記事に載っているか、どんな記事があるのかを確認しよう。

記事が載っている雑誌記事を探そう。

記事がどの雑誌記事に載っているかを確認しよう。

1 雑誌の目録、雑誌の人物について書かれた情報を調べる。

2 雑誌の目録の情報を調べる。

3 雑誌の目録の情報を調べる。

雑誌記事探しをする時の注意

- 1) 目録情報・雑誌情報に気を付けよう。
- 2) 知りたいテーマに関連するキーワードは色々と試してみよう。雑誌の「目録」は「雑誌」ではないので注意。

ア 雑誌情報に気を付ける。調べる 雑誌情報 - 雑誌情報 - 雑誌情報
 イ 雑誌情報に気を付ける。調べる 雑誌情報 - 雑誌情報 - 雑誌情報
 ウ 雑誌情報に気を付ける。調べる 雑誌情報 - 雑誌情報 - 雑誌情報

エ 雑誌情報に気を付ける。調べる 雑誌情報 - 雑誌情報 - 雑誌情報
 オ 雑誌情報に気を付ける。調べる 雑誌情報 - 雑誌情報 - 雑誌情報
 カ 雑誌情報に気を付ける。調べる 雑誌情報 - 雑誌情報 - 雑誌情報

CD/DVD-ROM検索サービスの充実を図りました。

中央図書館では、新聞記事、企業情報、法律・判例情報など約 400 タイトルのCD/DVD-ROMを活用した検索サービスを提供しています。

3月25日から、検索結果の印刷サービスを開始しました。

オ 行政への支援（市内情報拠点化事業）

引き続き、市役所各部署を対象に、日常業務や新たな事業の企画立案等のために必要な情報に関するレファレンスや、資料提供などを行いました。

市役所内に調査を行い、各部署で所有する雑誌・新聞の目録を作成しました。平成 11 年度に開始したこの市内情報拠点化事業は、図書館による行政支援サービスとして、全国的にも先駆的な事業です。市役所内部での図書館の認識を高め図書館サービスの充実につなげることで、市役所が行う市民サービスを支援することにより図書館サービスの拡大を図ることなどを目的として実施しています。

【市内情報拠点化事業利用実績】

区分	業務用資料貸出（冊）		レファレンス受付(件)		ブックリスト作成(件)	
	対象区局数	利用実績	対象区局数	利用実績	対象区局数	利用実績
平成14年度	39	1,211	38	334	2	2
15	38	1,242	38	287	2	2
16	38	1,299	38	255	2	2
17	41	1,322	43	268	1	1
18	34	842	29	230	1	2
19	37	1,525	36	280	1	1

注)平成18年度に主管課を企画運営課から調査資料課へ移管。受付・統計方法に変更あり。

【ブックリスト作成実績】

リスト名	提供年度	提供対象局
児童虐待関連文献リスト、児童虐待を考える100冊	平成9年度	衛生局・福祉局
自治の風景	平成10～12年度	総務局
地球温暖化を考える	平成10年度	環境保全局
初めて出会う絵本のリスト わくわく見つけた!	平成14年度	衛生局
先輩係長が選んだ「新任係長に薦めるこの1冊」	平成14～19年度	行政運営調整局
横浜市議会議員ブックガイド	平成11、15年度	市会事務局
ヨコハマはG30～環境問題に関する映像等資料	平成16年度	資源循環局
新採用職員向けミニブックリスト	平成18年度	行政運営調整局

注)局名は提供年度当時の名称

(3) 「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進に努めます

ア 子どもの読書活動推進（詳細は、「10 利用状況(9)企画事業、その他の事業」P46 参照）



4月23日の“子ども読書の日”にちなみ、市立図書館全館で「読書スタンプマラソン」などの事業を実施しました。

「読書スタンプマラソン」は、小学校低・中・高学年ごとに本にちなんだクイズを掲載した質問用紙を用意し、正解するごとにスタンプを押してしおりを贈呈、さらに全問正解した参加者には表彰状を授与するという企画です。4月3日から6月30日までの期間中、全館で約11,700枚のしおりと約1,200枚の表彰状が子どもたちの手に渡りました。

また、ホームページ「読んでみよう、こんな本」で

紹介している図書の展示を全館で実施したほか、中央図書館では、第18回読書感想画コンクールの横浜地区入賞作品（小中学生）の展示会を行いました。

そのほかにも、特別おはなし会や子どもの本を紹介するミニ講座、子どもの読書の相談会など、各図書館でさまざまな取組を行いました。



市内3動物園の協力により作成したしおりには16種類の動物が登場。裏面には、飼育員による動物紹介を掲載。

市立図書館全館でティーンズ・サービスを開始しました。

ティーンズ世代の知的好奇心や悩み、関心に沿い、その読書力にあった本に触れる機会と情報を提供するため、10月4日、ティーンズ・サービスを開始しました。全館にティーンズコーナーを設置し、ホームページ「ティーンズページ」を開設しました。

注) ティーンズ：横浜市立図書館ではおおむね13歳から19歳の青少年を指して使用します。



ティーンズコーナー(泉図書館)

ティーンズコーナーの特徴

児童書では物足りない、しかし量的にも質的にも多様化・高度化する一般書からは自分にぴったりの資料を探しきれない。そんなティーンズにも読みやすい一般書を紹介するコーナーです。

- 「生き方」「学校生活」「進路・仕事」などティーンズ向けに出版された資料
- 各分野の入門書・解説書
- 時々話題性や興味の対象を考慮した資料

小学校1年生向けリーフレット「としょかんはたのしいよ」、小中学生向けおすすめリスト「よんでみようこんなほん」を発行しました。

小学校1年生向けに、図書及び図書館を紹介するリーフレットを作成し、4月に市内の市立・私立・国立・外国人学校に配布しました。また、児童・生徒が読書に親しみ、図書館利用のきっかけとなるよう、小学校低・中・高学年及び中学生の対象別に図書のリストを作成し、夏休み前に市立小中学校全校に配布しました。年齢や読書経験などさまざまなレベルを想定して幅広く図書館の蔵書を紹介しています。

中央図書館で「読書フェスティバル」を実施しました。

平成 18 年度に続き、横浜市小学校図書館研究会、子ども読書活動推進大作戦実行委員会との協働により、11月17日(土) 18日(日)に「読書フェスティバル」を開催しました。

17日には、地下ホールで市立小学校教員等による“おもしろ読み聞かせ劇場”や“アニメーション”、1階「おはなしの部屋」では市民グループと中央図書館司書によるおはなし会を延べ5回開催しました。

18日は、『ゲド戦記』などの翻訳や児童文学評論で活躍中の清水眞砂子氏の講演会のほか、フェリス女学院大学などの協力を得て、歌やピアノなどの音楽を組み合わせた読み聞かせ、朗読を行いました。

1階展示コーナーでは地域で読書推進の活動をするグループと「子ども読書活動推進大作戦」の活動を紹介するとともに、『本の世界をひろげよう 読み聞かせボランティアハンドブック』(子ども読書活動推進大作戦実行委員会作成/中央図書館協力)掲載の“読み聞かせに向く絵本”約100冊を展示しました。



「読み聞かせに向く絵本」の展示(中央図書館)

イ ボランティアへの支援

読み聞かせ等ボランティア養成講座・ボランティア交流会を実施しました。



全館的な取組としては4年目を迎える「おはなしボランティア養成講座」は、学校や地域で読み聞かせ等の活動を通じて、子どもの読書推進に取り組んでいる市民の方を対象とした実践講座です。平成19年度は8館(中央・鶴見・南・磯子・金沢・港北・都筑・戸塚)を会場に実施しました。全3回の連続講座形式で、絵本の読み聞かせとストーリーテリングについて、基本的な知識や技術の習得を目的としています。外部講師による講義のほか、図書館司書が実習指導の講師を務め、図書館の蔵書の中から活動に役立つ関連資料の紹介を行っています。

また、地域で活動するボランティア同士の情報交換の場として、ボランティア交流会を実施しました。平成19年度は4館(南・港南・栄・泉)で開催し、読み聞かせや選書に関するアドバイス、活動に役立つ資料の紹介などを行いました。

ボランティア向けの図書修理講座を行いました。

学校図書館や地区センター図書室・コミュニティハウス等の図書貸出施設で活動する市民ボランティアを対象に、本の修理の基礎を学ぶ図書修理講座を行いました。受講生は、各自で修理が必要な本を持参し、講師の指導のもと、実際に修理実習を行いました。



ウ 学校教育への支援（学校連携事業）

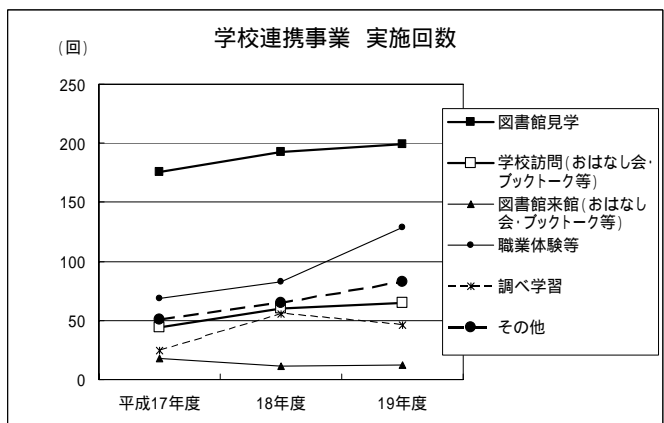
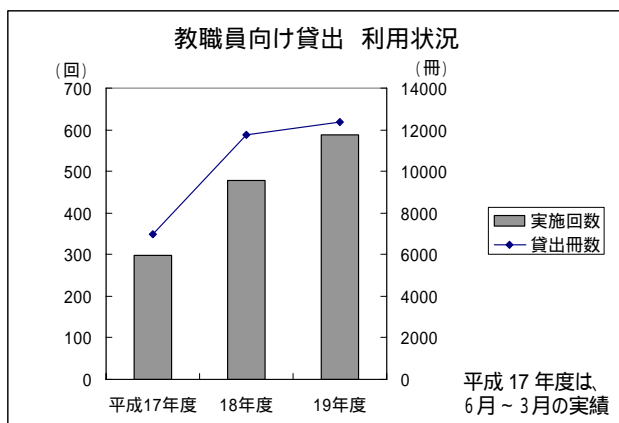
図書館は学校教育への支援のため、学校連携事業を行っており、教職員向け貸出、職業体験・職業インタビューの利用が伸びています。

「横浜教育ビジョン推進プログラム」の中の「重点政策3 読解力の向上」の具体策に位置づけられた「はまっ子読書ノート」(横浜市教育委員会作成、市立小学校全児童に配布)の作成委員会には、中央図書館司書が参加しました。ノートには市立図書館の利用案内のほかに、児童が来館した時に図書館でスタンプを押すページも設けました。

また、中央図書館で開催した再利用図書譲渡会にあわせて、学校図書館向け図書展示会を11月に開催しました。新刊書の中から教科に役立つ本や、図書館ホームページ「読んでみよう、こんな本」で紹介している本に加えて、読み聞かせに向く本の展示を行ったところ、関心を持って手に取る教員の姿が多く見られました。

【平成 19 年度実績】

実施内容	延実施回数	延利用人数または冊数
図書館見学	199 回	7,460 人
図書館来館（おはなし会・ブックトーク等）	12 回	966 人
学校訪問（おはなし会・ブックトーク等）	65 回	5,440 人
職業体験学習・職業インタビュー	129 回	474 人
調べ学習	46 回	781 人
その他（教職員向け講習・レファレンス等）	83 回	1,568 人
教職員向け貸出	587 回	12,396 冊



(4) そのほかのトピックス

財源確保のための取組

広告料収入等を積極的に活用し、経費節減に努めました。

平成17年度から始まった図書館ホームページへのバナー広告掲載が3年目、また大学案内パンフレットラック設置による広告事業は今年で2年目となりました。これらに加え、新たな広告事業として、2008年度用図書館カレンダーの裏面に広告を掲載しました。